

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 16 日 (2021.12.16)

【公開番号】特開 2020-111651 (P2020-111651A)

【公開日】令和 2 年 7 月 27 日 (2020.7.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-029

【出願番号】特願 2019-2209 (P2019-2209)

【国際特許分類】

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

B 4 1 M 3/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/61 (2018.01)

C 0 9 D 5/24 (2006.01)

C 0 9 D 5/25 (2006.01)

C 0 9 D 5/04 (2006.01)

C 0 9 D 7/65 (2018.01)

H 0 5 K 1/09 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

C 0 9 D 7/20 (2018.01)

B 0 5 C 5/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 201/00

B 4 1 M 3/00 Z

C 0 9 D 7/61

C 0 9 D 5/24

C 0 9 D 5/25

C 0 9 D 5/04

C 0 9 D 7/65

H 0 5 K 1/09 A

B 0 5 D 7/24 3 0 3 A

C 0 9 D 7/20

B 0 5 C 5/00 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 8 日 (2021.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 2 】

次に、実施例 1 の塗布剤を使ってディスペンスコントローラーと卓上ロボットに搭載した縦 5 0 0 μ m × 横 5 0 0 μ m の矩形の吐出口径を 1 0 0 0 μ m ピッチで 7 本形成したラインコーターヘッドから、誘電エラストマーフィルム（実施例 1 の基材）上へフィルム面から 0 . 3 mm 吐出口を離れた状態で、吐出圧 3 6 0 k P a、ヘッドスピード 1 0 mm / 秒で 6 mm 長のストライプパターンを吐出した。上記誘電エラストマーフィルム上への塗布剤のライン吐出には、高粘度液体制御可能なディスペンスコントローラー（武蔵エンジニアリング社製）と X Y Z 軸制御可能な卓上ロボットであるモノ式のディスペンサー（武蔵エンジニアリング社製）を用いた。